

(別記第1号様式)

持続性の高い農業生産方式の導入に関する計画(新規・更新)

(目標:平成 年度)

どちらかを○で囲むこと

1 持続性の高い農業生産方式の導入に関する目標

(1) 農業経営の概況

	水田	普通畑	樹園地	その他	合計
経営面積	a	a	a	a	a
労働力	農業従事者 男 人		女 人		
	(うち専従者 人)		(うち専従者 人)		

注 「経営面積」には、借入地面積及び受託地面積を含む。

(2) 作物別生産方式導入計画

		1年目	2年目	3年目	4年目	目標年 (年)	備考
生産方式導入作物		a	a	a	a	a	a
		a	a	a	a	a	a
		a	a	a	a	a	a
		a	a	a	a	a	a
		a	a	a	a	a	a
		a	a	a	a	a	a
		a	a	a	a	a	a
		a	a	a	a	a	a
小計		a	a	a	a	a	a
その他作物		a	a	a	a	a	a
合計		a	a	a	a	a	a

注1 目標年は、原則として5年後とすること。

2 「生産方式導入作物」の上段には、導入しようとする農業生産方式に係る農作物の作付面積を記入し、

下段には、当該農作物と同じ種類の農作物の作付面積の合計を記入すること。

3 「その他作物」には、持続性の高い農業生産方式を導入しない農作物の作付面積の合計を記入すること。

4 再認定申請の場合、必要に応じて、前回申請時の導入目標面積等を備考欄に記入すること。

(3) 生産方式の内容

作物名 (品種名等)	収量	現行の生産方式と導入する生産方式の内容	資材の使用の 量・回数
目標 ()	目標 kg/10a	有機質資材(たい肥等)施用技術 (目標)	t/10a
		(現状)	t/10a
現状 ()	現状 kg/10a	化学肥料低減技術 (目標)	kgN/10a
		(現状)	kgN/10a
()	()	化学農薬低減技術 (目標)	回
		(現状)	回

注1 「収量」については、「現状」に過去5年間における収量の平均を記入し、「目標」に生産方式の導入による収量の目標を記入すること。

2 「有機質資材(たい肥等)施用技術」、「化学肥料低減技術」及び「化学農薬低減技術」は、それぞれ、法第2条第1号、第2号及び第3号に規定する技術及び導入指針に示す「その他の技術」をいう。

3 「有機質資材(たい肥等)施用技術」には、たい肥等の有機質資材の施用時期等を記入すること。また、土壌診断の実施時期についても併せて記入すること。

4 「化学肥料低減技術」には、導入する技術の具体的な内容、施用する肥料等を記入すること。

5 「化学農薬低減技術」には、導入する技術の具体的な内容、実施時期等を記入すること。

6 「資材の使用の量・回数」には、下記について記入すること。

有機質資材(たい肥等)施用技術においては、1年当たりの施用量及び窒素投入量

化学肥料低減技術においては、1年当たりの化学肥料由来の窒素の総投入量

化学農薬低減技術においては、1年当たりの農薬の使用成分回数の合計

7 作物名には、必要に応じて、()に品種名等を記入すること。

(4) 農業所得の目標

	現状	目標
生産方式導入作物	千円	千円
その他作物	千円	千円
合計	千円	千円

注 「農業所得」は、販売額から当該生産に要した経費を差し引いた額を記入すること。

2 1の目標を達成するために必要な施設の設置、機械の購入その他の措置に関する事項

(1) たい肥等利用計画

	たい肥等有機質 資材の種類	自 給	購 入	備 考
現状		t	t	
目標		t	t	

注1 「たい肥等有機質資材の種類」には、有機質資材の一般的な名称(例:牛ふんおがくずたい肥)を記入すること。

2 「備考」には、有機質資材の入手先、主な原料等を記入すること。

(2) 機械・施設整備計画

現 状		計 画		
種類・能力	台数	種類・能力	台数	実施時期

注 「種類・能力」には、機械・施設の一般的な名称(例:トラクター)及びその能力の程度(馬力、植付け条数等)を記入すること。

(3) 資金調達計画

資金使途	資金種類	金額	償還条件等	実施時期	備考
		千円			
合計		千円			

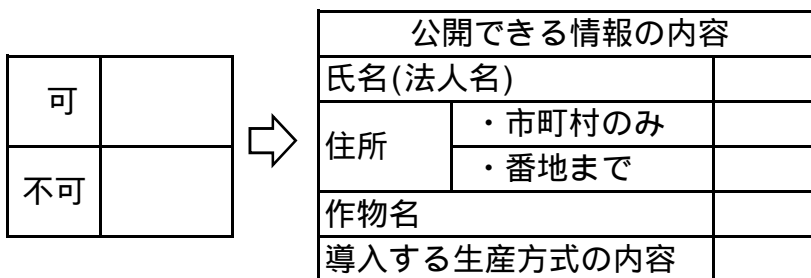
- 注1 「資金使途」には、整備する機械又は機械の一般的な名称を記入すること。
 2 「資金種類」には、自己資金、制度資金（資金名を併記）その他の区分を記入すること。
 3 「金額」には、補助金等の助成措置がある場合には、括弧書で外数として記入すること。
 4 「償還条件」には、償還期間（据置期間を含む。）及び据置期間を記入すること。
 5 「実施時期」には、機械又は施設を導入する年月を記入すること。

3 その他

注 導入指針に土壌の性質を改善するために実施することが必要な措置に関する事項が定められている場合は、当該措置の具体的内容、実施方法等を記入すること。

4 情報の公開に関する事項

この計画に係る情報の公開について（該当部分に を記入）



- 注1 情報公開は、「持続性の高い農業生産方式の導入に関する計画」の上記内容について、県等のホームページへの掲載や情報提供希望者への情報の提供等を行うものです。
 2 情報の公開について「不可」に をつけた場合であっても、佐賀県情報公開条例第5条に基づき開示請求に対して公開の対象となります。

[添付資料]

- 1 持続性の高い農業生産方式を導入する作物を栽培するほ場の位置を判別することができる地図（各ほ場で栽培する作物名が分かるもの）
- 2 持続性の高い農業生産方式を導入する作物を栽培するほ場の土壌診断結果

(別記第2号様式)

持続性の高い農業生産方式の導入に関する計画認定申請書 (新規 ・ 更新)
どちらかを○で囲むこと

平成 年 月 日

佐賀県知事 様

(申請者) 住 所

氏 名 印

生年月日 年 月 日

電話番号

(日中に連絡の取れる)

再認定申請の場合

認定番号 号

佐賀県持続性の高い農業生産方式の導入に関する計画の認定要領第2の3の規定により、導入計画の認定を受けたいので、関係書類を添えて申請します。

更新申請の場合、該当する更新要件にチェック☑すること。

- (1) 省令技術の追加
- (2) 技術内容の変更
- (3) 導入作物の面積の拡充
- (4) 導入作物の品種の変更
- (5) 技術の安定化等による収量の向上
- (6) 技術の安定化等による所得の向上
- (7) その他 ()

(別記第4号様式)

持続性の高い農業生産方式の導入に関する計画認定証

認定番号 号

認定者 様

持続性の高い農業生産方式の導入の促進に関する法律
第4条第3項の規定に基づき、あなたの導入計画を
認定します。

対象作物名： 、有効期限：平成〇〇年度末まで

平成 年 月 日

佐賀県知事

印

(別記第6号様式)

持続性の高い農業生産方式の導入に関する計画変更認定申請書

平成 年 月 日

佐賀県知事

様

(申請者) 認定番号 号

(申請者) 住 所

氏 名 印

電話番号

(日中に連絡の取れる)

佐賀県持続性の高い農業生産方式の導入に関する計画の認定要領第4の(1)の規定により、下記のとおり導入計画の変更認定を受けたいので、関係書類を添えて申請します。

記

導入計画変更の内容

項目	変更後	現行	備考
作物の変更			
作物の追加			
生産方式の内容の変更			
農作物の作付面積 (経営面積)の変更			
認定農業者の変更			
その他 ()			

(別記第7号様式)

持続性の高い農業生産方式の導入に関する実施状況報告書

平成 年 月 日

佐賀県知事

様

(申請者 住所

氏名

印

電話番号

(日中に連絡の取れる)

佐賀県持続性の高い農業生産方式の導入に関する計画の認定要領第6の(2)の規定により、その実施状況について別紙のとおり報告します。

持続性の高い農業生産方式の導入に関する実施状況報告書

1 農業経営の概況の実績

区分		現況 平成 年度 (開始年度: 年度)	目標年度 平成 年度	目標年度に対する実績の概要等
経営面積	水田	a	a	
	普通畑	a	a	
	樹園地	a	a	
	その他	a	a	
	合計	a	a	
労働力	農業従事者(男)	人	人	
	うち専従者	人	人	
	農業従事者(女)	人	人	
	うち専従者	人	人	

注 目標年度の欄には、導入計画に記載した数値を記入すること

2 作物別生産方式導入計画の実績

生産方式 導入作物名	区分		平成 年度 (開始年度: 年度)	目標年度 平成 年度		導入計画の当該年度及び目標年度に対する 実績等の概要等
	農業生産方式 での作付面積	導入計画面積 実績		平成 年度 (開始年度: 年度)	目標年度 平成 年度	
	当該作物の 作付面積	導入計画面積	a	a		
		実績	a	a		
	農業生産方式 での作付面積	導入計画面積	a	a		
		実績	a	a		
	当該作物の 作付面積	導入計画面積	a	a		
		実績	a	a		

注 導入計画面積の欄には、導入計画に記載した数値を記入すること

3 生産方式の内容の実績

生産方式 導入作物名	区分	資材の使用の量・回数		目標年度に対する実績の概要等
		平成 年度 (開始年度: 年度)	目標年度 平成 年度	
	有機質資材(たい肥等)施用技術	t/10a	t/10a	
	化学肥料低減技術	kgN/10a	kgN/10a	
	化学農薬低減技術	回	回	
	有機質資材(たい肥等)施用技術	t/10a	t/10a	
	化学肥料低減技術	kgN/10a	kgN/10a	
	化学農薬低減技術	回	回	

注 目標年度の欄には、導入計画に記載した数値を記入すること